

北海道
431件
全国最多

未届け有料老人ホームに対応を 入居者の安全求める

4日の道議会少子・高齢社会対策特別委員会で、社会問題と
なっている未届け「有料老人ホーム」に対する道の対応をただ
しました。道内の未届け数は431件、全国最多です。

有料老人ホームは、老人福祉
法にもとづく道への届け出が必
要です。13年10月末現在の国
の調査では、道内で431件が
未届けとなっています。

真下議員は「未届けのため行
政の目が行き届かず、その結
果、入居者の安全が脅かされる
ことも懸念される」と指摘した



上で、道内の有料ホームの実地
検査の状況などについて報告を
求めました。道は、届け出た有
料ホームに対しては「有料老人
ホーム設置運営指導指針」にも
とづいて、毎年の書面審査や3
年に1度の実地検査を実施して
います。一方、未届けホームに
対しては、定期的な検査は実施
しておらず、緊急な対応が必要
になった場合だけ立ち入り調査
を実施することになっています
が、3年間は立ち入り調査の実
績はありません。

これまでも有料老人ホームの
問題を取りあげてきた真下議員
は「09年に群馬県の未届けホー
ムで起きた火災事故をうけ、届
け出済みのホームではスプリン

クラーの設置が義務付けられ
た」例などをあげ、「届出する
ことで道が安全や処遇に関する
指導ができるため、入居者の安
全につながります。建設基準・
消防基準に合致しない既存施設
を活用したケースへの弾力的対
応も考慮しながら、未届けホー
ムの届け出を促進し、実地検査
などの対策強化が必要ですよ
う求めました。

高田久保健福祉部長は、未届
けホームの入居者や施設設備の
状況について、「年度内に事業
者へのアンケートを実施するな
ど実態把握に努め、届け出が促
進されるよう指導指針のあり方
などについて検討していく」と
答えました。

真下議員の質問は、5日付の
北海道新聞、読売新聞なども
報道されました。

いのちと暮らし支援を重点に 道予算に重点要望

1月26日、15年度道予算と
14年度補正予算について高橋は
るみ知事に対する重点要望を提出



しました。荒川裕生副知事が対
応しました。

真下紀子議員は、北海道の厳
しい暮らしと経済を再生させる
ために、原発も核のごみもな
い北海道の実現と再生可能エネ
ルギーの普及拡大を、大型公共
事業を見直し、安全と暮らし・
福祉に資する公共事業に転換
を、医療・福祉・介護、子育
て・教育の充実を、TPP、カ
ジノ誘致に反対し、農林漁業者
と中小零細事業者、労働者を応
援することなど7項目の重点要
望について予算編成への反映を
求めました。

中でも電気料金の再値上げの
影響が大きい低所得者や難病患
者・障がい者への助成の拡充な
ど、命に係わる施策の充実を求
めました。

荒川副知事は、電気料金も含
めた福祉灯油事業で市町村への
交付基準を1.5倍に引き上
げて支援することなどに加え、
「国に対し経済的負担軽減のた
めに必要な措置を講じるよう要
望している」とのべ、道として
要望に応えられるよう検討する
と話しました。

宮川じゅん札幌市議と石川明
美前釧路市議、菊地よう子、佐
野ひろみ、森つねと、松橋ちは
る、木村けんじ各氏もそれぞれ
地元要望を直接訴え、医療・福
祉や子育て支援、米価暴落対策
などを道として実施するよう求
めました。

米価暴落・農協改革

畠山衆議調査、関係者と懇談

真下議員と畠山和也衆議は6日、米価下落対策と農協「改革」をめぐる問題で農業調査を行いました。旭川市の副市長と農政担当幹部、農協組合長らと懇談しました。

JA東旭川の小山光昭組合長は「(農業政策で)本当のことを言っているのは共産党です。政策がふらついている」と語りました。農協が果たしている役割について「職員は組合員が安心して農業ができるよう、総合的に努力しています」と話し、営農指導や経営基盤の援助、地域での役割について説明しました。



旭川市・表副市長らと意見交換

旭川周

辺の農家は半減が予測されます」と語りました。

畠山議員は「政府には、日本の農業を守る気があるのかが問われています。現場の生の声をぶつけていきたい」と話しました。

真下議員は、昨年12月に政府と道に對して米価安定対策を求めたこと、毎年200戸が離農している問題を第3回定例会でとりあげ、北海道らしい酪農経営の継続を求めた質問についての道議会報告を手渡しました。

自然再生エネの促進と入札契約を

北電への売電単価下がり、4億円の減収

水力発電による道営電気事業の販売電力は年間1億9千万kwアワー、14年度度の北電への売電単価は9円10銭です。総括原価方式で算定され、2年ごとに更新されますが、09年度の単価10円74銭の84%まで下がり、年間約4億円の減収です。



真下議員は、北電との契約期間はあ

電力システム改革がすすみ新潟県は東北電力から新電力に供給先を変更したところ、15円90銭、道の売電価格の174%の高価格で売電し、年間48億円、2年で96億円の増収になる見通しです。



三障害すべて対象に

旭川精神障がい者家族会の新年の交流会があり、能登谷市議と参加。旭川市内では昨年4月から身体・知的・精神の3つの障がい者すべてを対象にバス運賃割引が実施されました。政府交渉を重ねた真下議員は、運動を拡げた家族会のみならず、市バスに報告しました。



サブ~イけど、冬まつり応援!



大雪像ステージでの開会式受賞者のみなさんに拍手!

ほっと一息

サプライズな金曜の夜

原発ゼロをめざす旭川の金曜行動は冷え込みが厳しい中ですが、2月6日も集ってアピールしていると、なんと昨年末の総選挙で衆議になった畠山和也さんが飛び入り参加。直接北海道の声を国会に届ける身近な議員の誕生を実感、サプライズな夜になりました。



ご意見・ご要望はこちらから

真下紀子公式ホームページ
<http://www.mashita-noriko.jp/>

日本共産党道議団ホームページ
<http://www.d7.dion.ne.jp/~jcpdogi/>

ブログ 笑顔ときどきウルトラマン
<http://mashita-noriko.blogspot.jp/>

フェイスブック 真下紀子